

# 第55期 中間報告書

平成27年1月1日から平成27年6月30日まで

# DAIWA



第15回 厨房設備機器展 (HCJ2015) 当社出展ブース



**大和冷機工業株式会社**

<http://www.drk.co.jp>

証券コード 6459

## 株主の皆様へ

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、平成27年6月30日をもちまして、第55期事業年度の間中期（平成27年1月1日から平成27年6月30日まで）を終了いたしましたので、この期間の事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年9月



代表取締役社長  
尾崎 敦史



## 事業の概況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、設備投資の増加、雇用情勢の着実な改善など、政府の各種政策により景気は緩やかな回復基調が続いているものの、アメリカの金融政策正常化に向けた動きの影響、欧州債務問題および中国や新興国経済の先行きに対する懸念など、わが国の景気を下押しするリスクにより、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社を取り巻く環境につきましては、主要取引業種の外食産業にあつては、持ち直しがみられるものの、消費者の節約志向・低価格志向ははまだ根強く、また、食品業界や一般小売業にあつても円安の影響による原材料の価格高騰など、引き続き厳しい経営環境にありました。

このような状況の中、当社においては、2014年度グッドデザイン賞を受賞した業界初のスライド扉冷蔵庫のシリーズ拡充をはじめ、省エネ製品のラインナップ強化や積極的な展示会への出展による市場へのアピールによりシェア拡大に取り組んでまいりました。また、新規出店を行い、より地域密着のサービス体制を築くことで、業績の維持向上に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高171億1千万円（前年同期比11.1%増）、営業利益30億9千8百万円（前年同期比9.5%増）、経常利益31億3千9百万円（前年同期比9.3%増）、四半期純利益19億1千7百万円（前年同期比11.4%増）となりました。

今後の見通しにつきましては、わが国経済は、個人消費に持ち直しの兆しがみられ、企業収益は改善傾向にあり景気の回復基調の継続が期待されながらも、中国経済の成長の鈍化、紛争による地政学的リスクなど海外情勢の懸念材料があり、景気の先行きは依然として予断を許さない厳しい経営環境が続くと思われまふ。

このような環境の下、当社は、社業の安定成長を図るため、顧客のニーズを的確かつ迅速に捉えて新製品の開発に繋げ、新市場の創造・新規顧客の開拓に取り組むとともに、常に安全・安心を提供できるサービス技術の一層の強化等、顧客の信頼に応えうる諸施策を積極的に推し進め、かつ、製造コストと経費の削減を図り、収益基盤の改善に努めてまいる所存であります。

なお、中間配当金につきましては、前期同様1株につき5円とさせていただきますので、ご報告申し上げます。

## 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
期 別	当第2四半期会計期間	前 期	期 別	当第2四半期会計期間	前 期
科 目	平成27年6月30日現在	平成26年12月31日現在	科 目	平成27年6月30日現在	平成26年12月31日現在
流 動 資 産	45,795	42,575	流 動 負 債	9,293	7,988
現金及び預金	38,131	35,950	支払手形及び買掛金	3,949	2,939
受取手形及び売掛金	3,958	3,539	未払法人税等	1,282	1,336
商品及び製品	1,776	1,468	引 当 金	469	412
仕 掛 品	338	340	そ の 他	3,592	3,300
原材料及び貯蔵品	482	354	固 定 負 債	2,098	1,902
点検修理用部品	200	212	退職給付引当金	947	768
そ の 他	912	713	役員退職慰労引当金	1,145	1,126
貸倒引当金	△ 4	△ 3	そ の 他	5	6
固 定 資 産	17,640	17,842	負 債 合 計	11,392	9,890
有形固定資産	10,048	10,359	<b>純資産の部</b>		
無形固定資産	101	109	株 主 資 本	51,969	50,514
投資その他の資産	7,489	7,372	資 本 金	9,907	9,907
投資有価証券	765	676	資 本 剰 余 金	9,867	9,867
そ の 他	6,753	6,728	利 益 剰 余 金	32,401	30,945
貸倒引当金	△ 29	△ 32	自 己 株 式	△ 207	△ 206
資 産 合 計	63,436	60,417	評 価 ・ 換 算 差 額 等	73	13
			そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	73	13
			純 資 産 合 計	52,043	50,527
			負 債 ・ 純 資 産 合 計	63,436	60,417

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。  
 (当第2四半期会計期間)  
 2. 有形固定資産の減価償却累計額 12,301百万円

## 四半期損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間	前 期
	平成27年1月1日から 平成27年6月30日まで	平成26年1月1日から 平成26年6月30日まで	平成26年1月1日から 平成26年12月31日まで
売上高	17,110	15,405	32,031
売上原価	6,674	5,934	12,741
売上総利益	10,436	9,471	19,289
販売費及び一般管理費	7,337	6,642	13,766
営業利益	3,098	2,828	5,523
営業外収益	111	94	187
受取利息	10	7	16
受取配当金	7	8	13
スクラップ売却益	34	35	74
その他	58	42	83
営業外費用	70	50	106
スクラップ処分費	34	32	68
その他	35	17	38
経常利益	3,139	2,872	5,604
特別利益	0	7	7
固定資産売却益	0	7	7
特別損失	13	3	61
固定資産除却損	13	3	61
税引前四半期 (当期)純利益	3,127	2,876	5,550
法人税、住民税及び事業税	1,232	1,259	1,923
法人税等調整額	△ 22	△ 105	186
法人税等合計	1,210	1,154	2,110
四半期(当期)純利益	1,917	1,721	3,440

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間
	平成27年1月1日から 平成27年6月30日まで	平成26年1月1日から 平成26年6月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	3,039	3,779
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 101	△ 862
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 256	△ 265
現金及び現金同等物 の増減額	2,680	2,651
現金及び現金同等物 の期首残高	34,150	33,498
現金及び現金同等物 の四半期末残高	36,831	36,150

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は前事業年度末と比べて2,680百万円増加の36,831百万円となりました。これは、営業活動で得た資金を投資活動や財務活動に充てた結果、資金が増加したためであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は、3,039百万円(前年同期に増加した資金は3,779百万円)となりました。これは主に、税引前四半期純利益3,127百万円、未払費用の増加1,076百万円、仕入債務の増加1,010百万円などが、法人税等の支払額1,284百万円、たな卸資産の増加額421百万円などを上回ったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は、101百万円(前年同期に減少した資金は862百万円)となりました。これは主に、固定資産の取得による支出598百万円などが、定期預金の払戻による収入500百万円などを上回ったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は、256百万円(前年同期に減少した資金は265百万円)となりました。これは主に、配当金の支払額256百万円であります。

# ノンフロン<sup>※1</sup>のシクロペンタンと インバータ制御を採用した 環境にやさしい冷蔵庫

省エネと  
静音性を  
実現!!

## 業界初<sup>※1</sup>となる真空断熱材の採用!!

業界初となる真空断熱材の採用<sup>※2</sup>、ドアバック・  
ガスケットの改良<sup>※3</sup>により省エネ性がさらに向上。

※1: 2014年2月現在、業務用冷凍・冷蔵庫において(当社調べ) ※2: 代表機種に採用 ※3: 順次切替



## ■ノンフロン断熱

当社では業界に先駆け、本体・扉の断熱材は発泡剤にシクロペンタンを採用しノンフロン化を実現しました。特に縦型冷蔵庫には業界初として2007年から採用しています。廃棄製品の冷媒回収と併せてノンフロン100%を目指します。

今後さらに多くの製品に採用することで、地球環境を大切にす最良の業務用冷蔵庫・ショーケースをご提供します。



## ■高断熱構造BOX

新開発の省エネBOXは庫内の冷熱の庫外板金への伝導を遮断。

また、庫内への熱浸入を防止する樹脂コーナーを各所に配置することで冷却ロスを防ぎ、より効率的な運転が可能になりました。

## ■インバータ制御

圧縮機と庫内ファン・凝縮ファンを高精度にインバータ制御し、省エネ・省コストを実現しました。

冷凍冷蔵庫は冷凍・冷蔵ともに圧縮機をインバータ制御。(一部機種を除く)

## Daiwa ECO SPIRIT



“冷”の技術が拓いてきた「食の安全」と「美味しさ」「快適」の追求。  
より多くの場面で、より多くのプロフェッショナルのニーズに応えるために、  
日々進化をしております。

21世紀は経営効率を高める一方、「地球温暖化問題」「オゾン層保護」の  
ステップを確実にし、次世代に豊かな文化と未来を継続するために、  
「トータル力」で提供してまいります。



・電子式鮮度保持

【鮮度くん】

・静音設計

【DCファンモータ・インバータ制御】

・センターノンピラー

冷蔵庫 / 冷凍庫

・恒温高湿庫

・急速凍結庫

・HFC冷媒

・ノンフロン断熱

・フロン回収システム

・CO<sub>2</sub>削減

高機能・高付加価値

環境保護



・クリアコートステンレス

・抗菌剤

・防カビ剤

・庫内アール加工

省エネ・省コスト

・インバータ制御

・真空断熱材

・DCファンモータ

・新マイコン

・低消費電力化

・節水制御

・高断熱構造

・NHガラス

衛生管理

TOTAL SOLUTIONS

安心・安全

・アラーム機能

・漏電ブレーカー

・診断機能

・サービスネットワーク

太陽光発電事業への参入と事業拡大

当社は業界に先駆け、冷蔵庫の本体・扉の断熱材にシクロペンタンを採用しノンフロン化を実現、環境への取り組みを行ってまいりました。この度2013年5月より佐伯工場で太陽光発電にも参入いたしました。また同年12月より大利根工場でも展開、さらに2014年7月からは佐伯市床木地区でも2メガワットの大型設備を稼働させております。3拠点の総発電量は4.3メガワットとなり、当社年間消費電力量の約6割を賅っている状況にあります。

今後も再生可能エネルギー事業拡大を進め、CO<sub>2</sub>排出量の抑制に努めてまいります。



佐伯市床木地区太陽光発電設備

## 2015年の主な新製品

### インバータ制御フラワー冷蔵ショーケース はな庫ちゃん〈冷凍機内蔵型〉



省エネ性能に優れたインバータ制御フラワー冷蔵ショーケースが新登場。

LED 照明を標準装備し、前面ガラス側からの照明を追加することで演出効果を向上。

断熱性能が高い NH ガラス採用により、ガラス面の結露を抑えます。

### スライド扉冷凍庫



2014 年度グッドデザイン賞を受賞した、スライド扉冷凍庫シリーズにインバータ制御冷凍庫が新登場。

インバータ制御冷蔵庫・インバータ制御冷凍庫・冷凍冷蔵庫とラインナップが増えました。



**GOOD  
DESIGN**

## インバータ制御冷凍・冷蔵庫 エコ蔵くん



業界トップクラスの省エネ性能を誇る、インバータ制御冷凍・冷蔵庫 エコ蔵くんがリニューアル。

業界初となる真空断熱材の採用、防露ヒータ通電率や除霜制御の最適化等によりさらに省エネ性能が向上。

一定速タイプもファンモータDC化・ヒータ低減により省エネ性能が向上しました。



## コールドテーブル【奥行450mmタイプ】



厨房の限られたスペースを有効活用します。

【奥行450mm】省スペースシリーズがモデルチェンジ。新型パネルデザインを採用し、マイコン制御デジタル温度表示に。



庫内ファンDC化、ヒータ容量低減、断熱性能の向上により、高い省エネ性を実現しました。

## スライド扉小型冷蔵ショーケース



省スペース設計が魅力の小型冷蔵ショーケースに新たなラインナップが新登場。

従来の幅600mm・700mm・900mmタイプに加えて、新たに庫内灯にLEDを採用した幅800mmタイプが追加。

ニーズに合わせてお選びいただけます。

## ジュースディスペンサー



左右独立した冷却運転が可能なジュースディスペンサー。

マイコン制御により、各タンク別々の温度設定が可能。

コンパクト設計ながら、冷却部プレートによりジュースをしっかり冷却します。

# 会社の概況

平成27年6月30日現在

商号	大和冷機工業株式会社
英文名称	DAIWA INDUSTRIES LTD.
資本金	9,907,039,049円
発行可能株式総数	84,000,000株
発行済株式総数	51,717,215株（自己株式364,791株を含む）
中間期末株主総数	3,105名
大阪本社	大阪市天王寺区小橋町3番13号 大和冷機上本町DRKビル
東京本社	東京都台東区台東2丁目4番3号 大和冷機秋葉原DRKビル
佐伯工場	大分県佐伯市大字長良3325番地6
福岡工場	福岡県太宰府市水城6丁目32番1号
関東大利根工場	埼玉県加須市豊野台1丁目345番地5
従業員数	2,283名
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 冷凍・冷蔵庫、ショーケース、製氷機、自販機および冷熱応用製品の製造販売およびリース並びに点検修理</li><li>・ 冷熱機器の設備の工事および各種部品の製造販売並びに点検修理</li><li>・ 厨房機器、装置、部品の製造販売およびリース並びに点検修理</li><li>・ 店舗・厨房の企画、設計および施工</li></ul>

## 役員

平成27年6月30日現在

代表取締役会長……	尾崎	敦史	茂
代表取締役社長……	尾崎	敦史	史
専務取締役……	杉田	壽文	宏
常務取締役……	小野	文	男
取締役……	前川	文	馨
取締役……	西久保	博	康
取締役……	尾崎	雅	広
取締役……	工藤	哲	郎
常勤監査役……	大津加	一	治
監査役……	日下	敏彦	彦
監査役……	小野	芳明	明

(注) 取締役 西久保博康氏は社外取締役であります。  
監査役 日下敏彦、小野芳明の両氏は、社外監査役であります。

## 執行役員

平成27年6月30日現在

社長執行役員……	尾崎	敦史	史
専務執行役員……	杉田	壽文	宏
常務執行役員……	小野	文	男
執行役員……	前川	文	馨
執行役員……	尾崎	雅	広
執行役員……	工藤	哲	郎
執行役員……	大久保	雅	明
執行役員……	笹井	正	博
執行役員……	川村	常	男
執行役員……	江村	祥	一
執行役員……	平出	和	茂
執行役員……	中津留	彰	伸
執行役員……	小西		隆
執行役員……	西川		勉

## 株主メモ

事業年度

毎年1月1日から12月31日まで

期末配当金受領株主確定日

12月31日

中間配当金受領株主確定日

6月30日

定時株主總會

毎年3月

株主名簿管理人

特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内1丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

特別口座の口座管理機関連絡先

大阪市中央区伏見町3丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券

代行部

電話 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所

東京証券取引所 市場第1部

公告の方法

電子公告により行う

公告掲載URL <http://www.drk.co.jp/>

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種のお手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、特別口座管理機関の三菱UFJ信託銀行にお問合わせください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

# 信頼で結ばれたワイドなサービスネットワーク。

全国をサービス・メンテナンス・最新情報の高感度アンテナとしてネットワーク。よりきめ細かく、スピーディに対応します。



大阪本社



東京本社

北越サービスセンター  
中部サービスセンター  
24拠点

中国サービスセンター  
四国サービスセンター  
21拠点

京滋サービスセンター  
大阪サービスセンター  
北大阪サービスセンター  
阪神サービスセンター  
37拠点

北九州サービスセンター  
中九州サービスセンター  
南九州サービスセンター  
30拠点

東北・北海道サービスセンター  
10拠点

関東サービスセンター  
埼玉サービスセンター  
南関東サービスセンター  
35拠点

北東京サービスセンター  
南東京サービスセンター  
23拠点

神奈川サービスセンター  
西関東サービスセンター  
22拠点



福岡工場



佐伯工場



関東大利根工場